第１学年後期

歯冠修復技工学

■一般目標（GIO）

歯冠修復技工学において，解剖学的な基本形態と機能的な補綴装置等を製作するために必要な知識を修得する。

■到達目標（SBOs）

・プロビジョナルレストレーションの製作方法を説明できる。
・シェードマッチングの方法を説明できる。
・研磨の意義と方法を説明できる。
・部分被覆冠の種類を説明できる。

■教 科 書：最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学（医歯薬出版）
■参考資料：プリント配付
■授業時間：金曜日　18：50 ～19：35
■ｵﾌｨｽｱﾜｰ：木内　香（kiuchi.kaori@nihon-u.ac.jp）金曜日・16：00～17：00
■成績評価：主として定期試験の成績（80%）と平常試験（20%）を前期と後期の合計で評価する。平常試験は解説を行いフィードバックする。
■注意事項：ノート，教科書を持参すること。
■授業方法：スライドおよび配布プリントを用いて講義を行う。授業時間内に平常試験を２回行う。
■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を行うので復習をすること。
■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。
■実務経験：木内香；歯科技工士として臨床経験を積む。その経験を基に，歯科臨床に必要な基礎的事項を教えていく。
■関連教科：歯冠修復技工学（２・３年），顎口腔機能学（１・２年），歯冠修復技工学実習（１・２年）

■予 定 表：

授業日・担当者	講　義　項　目	学　修　到　達　目　標
第１回 10 月 13 日 木内　香	１．クラウンとブリッジの製作 1)テンポラリークラウン・ブリッジ (教)pp. 58-61	・テンポラリークラウン・ブリッジの意義と目的と製作法を説明できる。 ・テンポラリークラウン・ブリッジの種類と使用材料を列挙できる。
第２回 10 月 20 日 木内　香	１．クラウンとブリッジの製作 2)色調選択 (教)pp. 62-64	・シェードマッチングの要件と方法を列挙できる。
第３回 10 月 27 日 木内　香	１．クラウンとブリッジの製作 3)作業用模型 (教)pp. 64-71	・作業用模型の意義と目的，製作法を説明できる。 ・作業用模型の構成と要件，種類を列挙できる。 ・歯型の辺縁形態を説明できる。
第４回 11 月 10 日 木内　香	１．クラウンとブリッジの製作 4)咬合器装着 5)クラウンに与える咬合 (教)pp. 71-76	・クラウンに与える咬合を説明できる。
第５回 11 月 17 日 木内　香	１．クラウンとブリッジの製作 6)ワックスパターン形成 (教)pp. 77-83	・ワックスパターン形成の種類と方法を説明できる。

授業日・担当者	講　義　項　目	学　修　到　達　目　標
第６回 11 月 24 日 木内　香	１．クラウンとブリッジの製作 7)埋没 8)鋳造作業 (教)pp. 83-89	・全部金属冠の埋没と鋳造作業を説明できる。
第７回 12 月１日 木内　香	１．クラウンとブリッジの製作 9)連結法 10)調整 11)研磨 12)クラウンの不具合の原因 (教)pp. 90-100	・研磨の意義と目的を説明できる。 ・研磨法を説明できる。 ・クラウンの不具合の原因について説明できる。
第８回 12 月８日 木内　香	１．クラウンとブリッジの製作まとめ (教)pp. 55-100 「平常試験」①，解説	・クラウンとブリッジの製作について総合的に理解度を深める。 ・第１回～８回までの講義内容を再確認し，理解度を深める。
第９回 12 月 15 日 木内　香	２．部分被覆冠 1)インレー，アンレー (教)pp. 115-117	・部分被覆冠の種類を列挙できる。 ・部分被覆冠の意義，特徴および適応用途を説明できる。 ・材料の違いによる製作工程を説明できる。
第 10 回 12 月 22 日 木内　香	２．部分被覆冠 2)窩洞形態と構成要素 (教)pp. 121	・窩洞形態と構成要素を列挙できる。
第 11 回１月 12 日 木内　香	２．部分被覆冠 3)3/4 クラウン,4/5 クラウン,7/8 クラウン 4)プロキシマルハーフクラウン (教)pp. 121-124	・3/4，4/5，7/8，プロキシマルハーフクラウンの意義，特徴および適応用途を説明できる。 ・支台歯形態を解釈する。
第 12 回１月 19 日 木内　香	２．部分被覆冠 5)ピンレッジ 6)ラミネートベニア (教)pp. 121-128	・ピンレッジ，ラミネートベニアの意義，特徴および適応用途を説明できる。 ・支台歯形態を解釈する。
第 13 回１月 26 日 木内　香	２．部分被覆冠まとめ (教)pp. 115-128 「平常試験」②，解説	・部分被覆冠ついて総合的に理解度を深める。 ・第９回～13回までの講義内容を再確認し，理解度を深める。
第 14 回１月 30 日（火） 木内　香	５．CAD/CAM システム 1)構成 2)利点と欠点 3)使用材料 (教)pp. 172-175	・CAD/CAMシステムの構成を説明できる。 ・CAD/CAMシステムの利点と欠点を列挙できる。 ・CAD/CAMシステムで使用される材料について説明できる。
第 15 回２月６日（火） 木内　香	後期のまとめ (教)pp. 115-175	・前期の講義内容を再確認し理解度を確認する。